



Press Release

平成28年8月8日
中部電力株式会社

(平成28年4月8日 プレス資料に一部追記)

2016年度夏季の電力需給見通しに関する経済産業省への報告内容

当社は、4月8日、経済産業省の報告徴収（2016.4.6 発出）に基づき、2016年度夏季（2016年7月・8月）の電力需給見通しを報告しましたので、お知らせします。

1 最大電力（発電端）

2016年度夏季の猛暑1点最大電力（2015年度並みの猛暑を想定した場合の計算値）を、2,567万kWと報告しました。

これは、国の指示により、至近に実施したアンケート調査により求めた今夏の節電効果147万kW程度を織り込むとともに、2015年度並みの猛暑を想定して計算した値です。

2 供給力（発電端）

2016年8月における当社の供給力を、2,739万kWと報告しました。

3 今夏の需給見通し

報告徴収値（猛暑1点最大電力、2015年度並の猛暑ケース）		
	2016年7月	2016年8月
最大電力（A）	2,567万kW	2,567万kW
供給力*（B）	2,689万kW	2,739万kW
予備力（B-A）	122万kW	172万kW
予備率	4.8%	6.7%

※緊急時の火力発電所の増出力を含む

（追記）この夏につきましては、全国的な電力需給状況に改善がみられたことから、政府において、「特別な節電要請を行う必要がない」との方針が決定されております。当社では政府の方針を踏まえ、この夏は、いわゆる「節電のお願い」を行いませんが、これまでお客さまに実施していただいている節電や省エネについては、エネルギーの有効利用やCO₂排出抑制などの観点からも、引き続き取り組みをお願い申し上げます。

当社は、引き続き、お客さまに安定して電気をお届けできるよう、発電所および送変電設備の重点的な点検・保守を確実に実施してまいります。

以上